

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	危険防止を優先した施錠も理解できるが、「あたりまえ」にならないという努力が必要である。	施錠をしない。どうしても危険防止の為しても出来るだけ早く開錠する。	出て行こうとされる入居者の方と一緒に出て行く。	1ヶ月
2	アンケート10	家族からみて、職員の言葉づかいで気になる事が一部の職員にある。	入居者の方にとって良い会話をスタッフ全員がする。	スタッフ全員で話し合いをして、何がいけないか、どんな会話が良いのか話し合うことにした。	3ヶ月
3	10	意見箱は設置してあるが、利用されていないのもっと使いやすいように工夫が必要である。	気軽に投函できる。	意見箱だと堅苦しく利用しにくいので、お願い箱、希望箱にして気軽に投函出来るようにする。毎月開封する日を報告し、誰が入れたか分からないよう工夫する。	3ヶ月
4	14	同業者での交流を通じた向上がされていない。	年に1回でも良いので交流をする。	他のグループホームの管理者に合い交流をお願いする。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。